

令和元年度 国立那須甲子青少年自然の家 教育事業
「なすかしの森 のびのびキッズ（秋編）」報告
令和元年11月9日（土） 日帰り

【目的・趣旨】

幼児が自然の中での様々な遊びにより、好奇心や探求心が刺激されると同時に、体を動かすことの楽しさを知り、徐々に自信をつけていくことで子供の積極性や個々の興味関心を引き出す。なすかしの森の中で、多様な動きの獲得、体力・運動能力の基礎を培う機会を提供する。

また、保護者に対しては、様々な遊びを通じて育まれる幼児の多様な動きや好奇心・探求心への気づきの場を提供するとともに、幼児が自然の中で遊ぶ上での安全を考える学びの場とする。



【連携先】

・郡山女子大学短期大学部

【募集対象／実績】

《募集対象》4歳以上の未就学児とその保護者 15家族30名程度

《実績》17家族51名申込、8家族26名参加（大人15名、子供11名）

【プログラム概要】

令和元年11月9日（土） 天候：晴

9：30 集合・受付〔玄関ホール〕

10：00 はじめの会・アイスブレイク（氷鬼等のおにごっこ）〔わくわくひろば〕

○アイスブレイクで期待できる36の動き



10：30 落ち葉プール遊び〔わくわくひろば〕

みんなでバケツを使って落ち葉を入れ、プールを完成させた。

転がったり、埋まったりして遊んだ。

○落ち葉プールで期待できる36の動き



12：00 昼食〔食堂〕

13：00 植物クラフト&焼き芋タイム〔わくわくひろば ピロティ〕

わくわくひろば周辺で、家族ごとに木の実等の材料集めをした。

「なすかしの秋 森のレストラン」という題で大皿に植物を料理に見たてた料理を完成させた。

作品完成後、遊んだ落ち葉で焼いたおいしい焼き芋を食べた。

○植物クラフト&焼き芋で期待できる36の動き



15：00 おわりの会〔ピロティ〕

15：30 解散

【成果】

- ・秋を連想させる「落ち葉」をキーワードにして事業を行った。落ち葉プール、散策で拾った落ち葉等を使った植物クラフト、遊んだ落ち葉で焼き芋作りとつながりのある活動・内容であった。
- ・落ち葉プールでは、バケツで落ち葉を運ぶところから子供たちが関わることで、自分達のプールという意識も持つことができた。そのため、転がったり、跳んだりはねたり、自分を埋めたりして全身落ち葉まみれになるほど思いっきり遊ぶ姿が見られた。また、遊んだ落ち葉で焼き芋をしようと呼びかけると、意欲的に片付けから運ぶところまで取り組んでいた。これらの活動や遊びの中で、多様な動きを行うことができた。
- ・植物クラフトでは、はじめに「なすかしの秋森のレストラン」というテーマを伝えた。親子で相談しながら、わくわくひろば周辺を散策し、様々な種類、色や大きさ、形の違うものを袋いっぱい集める姿が見られた。材料からメニューを決め、大皿いっぱいの作品を完成させることができ、子供も大人も満足した表情であった。
- ・発達段階に個人差があることを考慮し、時間にゆとりを持たせた計画を立て運営にあたったので、逐次休憩や遊びをはさみつつ、参加者を急かすことなくプログラムを進めることができた。
- ・ボランティアは1名であったが、非常に意欲的に活動に取り組んでいた。

《参加者の声》

「初めての体験でしたが、子供がいきいきと過ごしていて良かったです。また別のイベントにも参加してみたいです。」「子供を考えたプログラムで良かった。」「体をたくさん動かし、楽しかった。」「(ボランティアスタッフに対して) 子供の対応力がすぐれていて、親の負担をサポートしてくれた。」「普段なかなか体験できない自然体験ができてよかった。」等

【課題と方策】

- ・落ち葉を使つての焼き芋は時間がかかり、場所によって出来具合に差が出た。時間や方法の検討が必要である。また、再度焼くケースも想定して、ミニミッション OL 等簡単にできる活動や遊びを考えておくとよかった。

国立那須甲子青少年自然の家〔作成〕企画指導専門職：江口 俊文



【広報実績】

《実施前》

- ・近隣市町村が発行する広報誌へ参加募集の掲載。
（西郷村、白河市、矢吹町、棚倉町、埴町、下郷町、那須町）
- ・西白河郡、東白川郡、白河市、那須町にある幼稚園、保育園、認定こども園等へのチラシ配布。
- ・HP への掲載。

《実施後》

- ・Facebook への掲載。

【公立施設等への普及・今後の活用事例等】

当所の活動プログラムとして提供していく。

【事業評価・次回への引継等】

- ・30名の募集定員に対して51名の申込があった。キャンセルを見越して申込者全員を受け入れた
が、25名がキャンセルとなった。幼児は急な体調不良によるキャンセルが少なくない。今後も募
集定員より多めに受け入れて問題ない。
- ・本事業では特に限定せずに募集をかけた結果、父親に比べ母親の方が多い。母親の方が、教育事
業への関心が高いことが伺える。今後もニーズを捉えながら、対象を父親に限定した事業の計画
も視野にいれたい。
- ・落ち葉プールが想像以上に盛り上がったため、当初予定していたミッション 0L は行わず、子供た
ちが納得いくまで思いっきり遊ばせた。今後も参加者の様子を見ながらプログラムの調整を行っ
ていく必要がある。
- ・事前に本番と同じ芋で、試し焼きを行っていたが、数が多いと場所によってむらが出てしまった。
落ち葉で焼く場合、さらに時間を十分にかける必要がある。